

開発を安全かつ爆速で進める

藤島 拓大

## 自己紹介

フルスタックエンジニアになりたい...



: tingtt



名前:藤島拓大

得意:

TypeScript, docker, git

やってる/やりたい:

VPN構築, 自宅サーバ, DNS, CI/CD

## 話すこと

- → gitとは
- → 実践フロー
- → Tipsいろいろ



gitとは



## バージョン管理ツール

| Gra | Description                      | Date      | Author | Com      |
|-----|----------------------------------|-----------|--------|----------|
| •   | [doc] APIのmysql接続用envファイルについて    | 19 Oct 20 | tingtt | 45a6f240 |
|     | [doc] クエリ発行メソッドのUsage            | 19 Oct 20 | tingtt | d81dfc84 |
| •   | [add] mysql接続とクエリ発行用のメソッド        | 19 Oct 20 | tingtt | dd71e361 |
| •   | [npm] install 'serverless-mysql' | 18 Oct 20 | tingtt | 475326b6 |

- タスクや機能でバージョンを区切ってコ ミットする
- Diff(差分)で管理される

#### Diff

直前のコミットからの変更差分

```
// クエリ発行
                                                                                   // クエリ発行
const selectQueryResult: any = await query(
                                                                                   const selectQueryResult: any = await query(
 "SELECT id, name, parent_id, theme_color, pinned, `order`, hidden FROM tags WH
                                                                                     `SELECT
  [user_id, tag_id]
                                                                                       parent.id, parent.name, parent.theme_color, parent.pinned, parent.\`order\`,
                                                                                      CONCAT('[', TRIM(TRAILING ', FROM GROUP_CONCAT('{\"id\":', child.id, ',\"na
                                                                                       tags parent
                                                                                     LEFT JOIN tags child ON parent.id = child.parent_id
                                                                                     WHERE parent.user_id = ? AND child.user_id = ? AND parent.id = ?
                                                                                     GROUP BY parent.id; ,
                                                                                     [user_id, user_id, tag_id]
// クエリ結果のチェック
                                                                                   // クエリ結果のチェック
if (!Array.isArray(selectQueryResult)) {
                                                                                   if (!Array.isArray(selectQueryResult)) {
 throw new Error("Error: Query returned unsupported resopnse")
                                                                                    throw new Error("Error: Query returned unsupported resopnse")
if (selectQueryResult.length == 0) {
                                                                                   if (selectQueryResult.length == 0) {
 res.status(404).json({ message: "Tag not found" })
                                                                                    res.status(404).json({ message: "Tag not found" })
const embedResult: any = await Promise.all(
  selectQueryResult.map(async (value: any) => {
                                                                                   const parsedSelectQueryResult = selectQueryResult.map((row) => {
   // クエリ発行
                                                                                     row.tags = JSON.parse(row.tags)
    const sub_tags: any = await query(
                                                                                     return row
     "SELECT id, name, theme_color, pinned, `order`, hidden FROM tags WHERE use
      [user_id, value.id]
    // クエリ結果のチェック
    if (!Array.isArray(sub_tags))
     throw new Error("Error: Query returned unsupported resonnse")
    if (sub_tags.length != 0) (
     value.sub_tags = sub_tags
    return value
res.status(200).json(embedResult[0]
                                                                                   res.status(200).json(parsedSelectQueryResult(0) as Tag
```

## バージョン管理の利点

- 何を作ったのか
- コードが何のために書かれたのか

が把握できる。

gitの基本はこんな感じ

# 複数人で作る場合



## リモートリポジトリ

#### チーム開発で活用

- GitHub
- GitLab
- BitBucket

コミットを共有できる

オンライン上でマージもできる







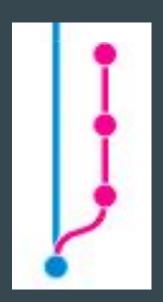
# 実践フロー

※一例



## ブランチを切る

- 機能やissue(タスク的なやつ)でロ グを枝分かれさせる
- 何の機能ためのコミットなのか



### コミット



- わかりやすい区切りでコミットしていく
- しようと思えば後からコミットをまとめて1つのコミットを作り直したりできるので細かめのほうが吉

(依存関係があるコードの変更を2つ以上のコミットに分割するのはやめたほうが良い)

## プッシュ

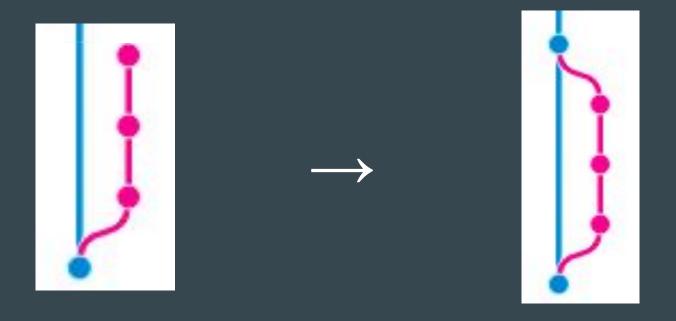
コミットをリモートリポジトリにアップロードする。





※画像はGitHubのコミットログ画面

## マージ

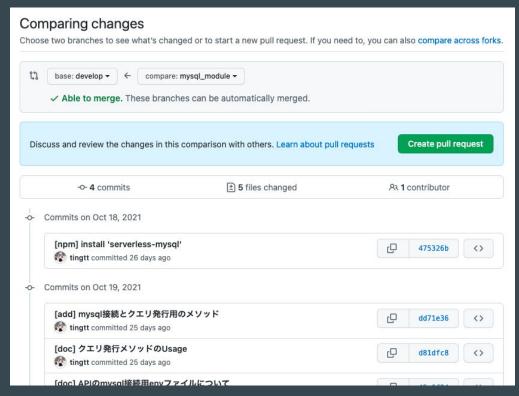


## プププルリクエスト/マージリクエスト

変更を反映させて良いか GitHub, GitLab, BitBucket 上で確認する。

依存確認を含めたコードレビュー も行う。

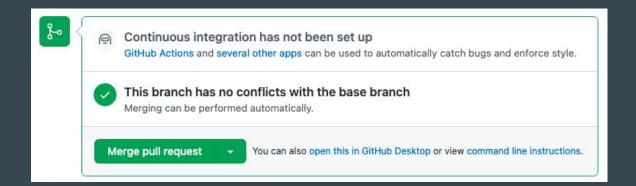
特定のメンバーをレビュー担当 に任せたりできる。 (アサイン)



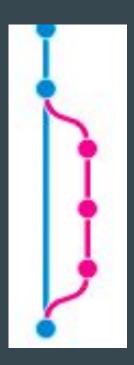
※画像はGitHubのプルリク発行画面

# ~マージ

#### 変更を反映







ピンクブランチのコミットを青ブランチにマージした 場合のログ

merge PINK into BLUE.

## フェッチ / プル

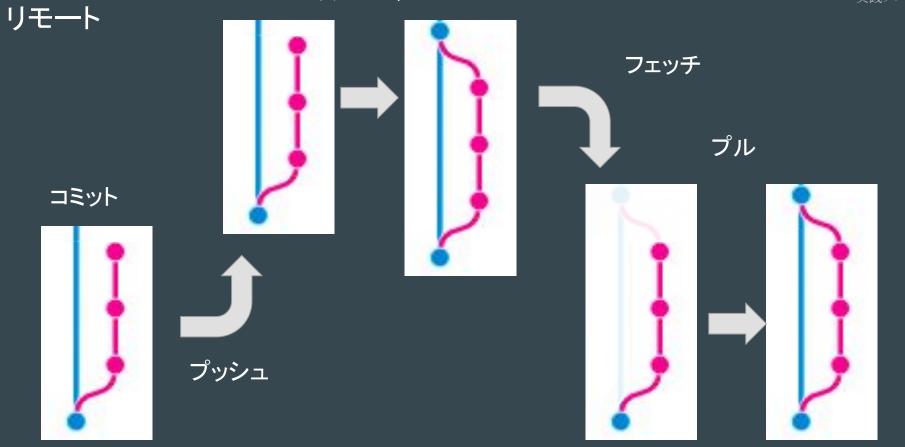
フェッチ:

リモートリポジトリの変更をローカルに取得

プル:

マージの一種 リモートリポジトリとローカルのリポジトリの間でマージする

ローカル



18

## 繰り返し

- ブランチを切る
- コミット×\*
- プッシュ
- ▼ マージリクエスト(プルリクエスト)
  - レビュー担当者はレビュー
  - 修正が必要なら修正してコミットをプッシュ
  - o マージされたらプル
- ブランチを切る

git checkout -b <feature\_1>

git commit -m "..."

git push <remote>

git checkout main && git pull

git checkout -b <feature\_2>

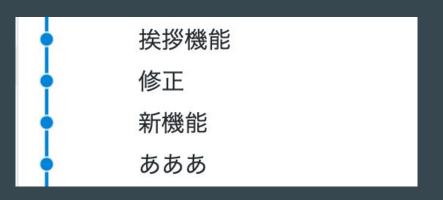
# Tips

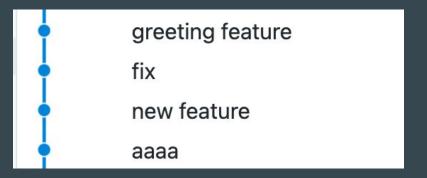


## コミットメッセージ

#### 悪い例:

そもそも雑、何のコミットなのか分からない





#### 良い例:

Update greeting text

Ignore the build file

Add greeting function

Add go.mod

※ 英語でメッセージを書く場合に接続詞 を使って「行の詰め込むとわかりにくく なるので注意が必要

日本語と違って漢字が無いため難しい

挨拶文を変更 .gitignoreでビルド後のファイルを除外 挨拶機能を作成 go.modを作成

↓ 動詞を英語で頭につけるのおすすめ

[update] 挨拶文 [git] ビルド後のファイルをignore [add] 挨拶 [add] go.mod

### コミットをやり直したい

#### \$ git commit --amend

一つ前のコミットを修正できる。 コミットメッセージを打ち直したり、 変更をステージしてコミットに含めることができる。

#### \$ git reset --soft HEAD^

コミットを取り消す。

HEADの後の'^'('~'でも可)の数で戻すコミットの数を増やせる。

- --softは変更を保持したまま取り消す用のオプション
- --hardでコミットも変更自体も取り消せる。

### 一時退避

#### \$ git stash

変更を退避できる。

-uオプションで未追跡のファイルも退避する。

#### \$ git stash pop

退避した変更を取り出す。

複数stashがある場合は番号で指定して取り出せる。

#### rebase

#### \$ git rebase <branch>

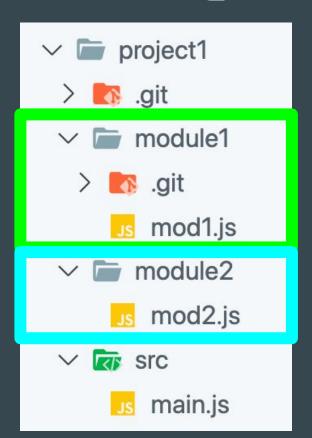
Assume the following history exists and the current branch is "topic": A---B---C topic D---E---G master From this point, the result of either of the following commands: git rebase master git rebase master topic would be: A'--B'--C' topic D---E---G master

#### ローカルでマージ(あまりやらない)

マージリクエストなどを発行せずに、ローカルでマージすることもできる。

- 個人開発
- フォークして開発している場合
- 細かいブランチを切っていてそれらを統合してからプッシュしたい場合 (自分が切ったブランチ同士)

#### submodule\(\mathbb{L}\)subtree



#### submodule:

- `.git/`がある。
- <u>● そのディレクトリが1つの</u>リポジトリ

#### subtree:

- `.git/`がない。
- ディレクトリに対してなにか管理を行うわけではない。

### その他小技

ブランチを切りながらブランチ切り替え

\$ git checkout -b <new\_branch>

コミットしていない変更を削除

\$ git checkout.

ステージしてない変更をaddしてコミット

\$ git commit -a